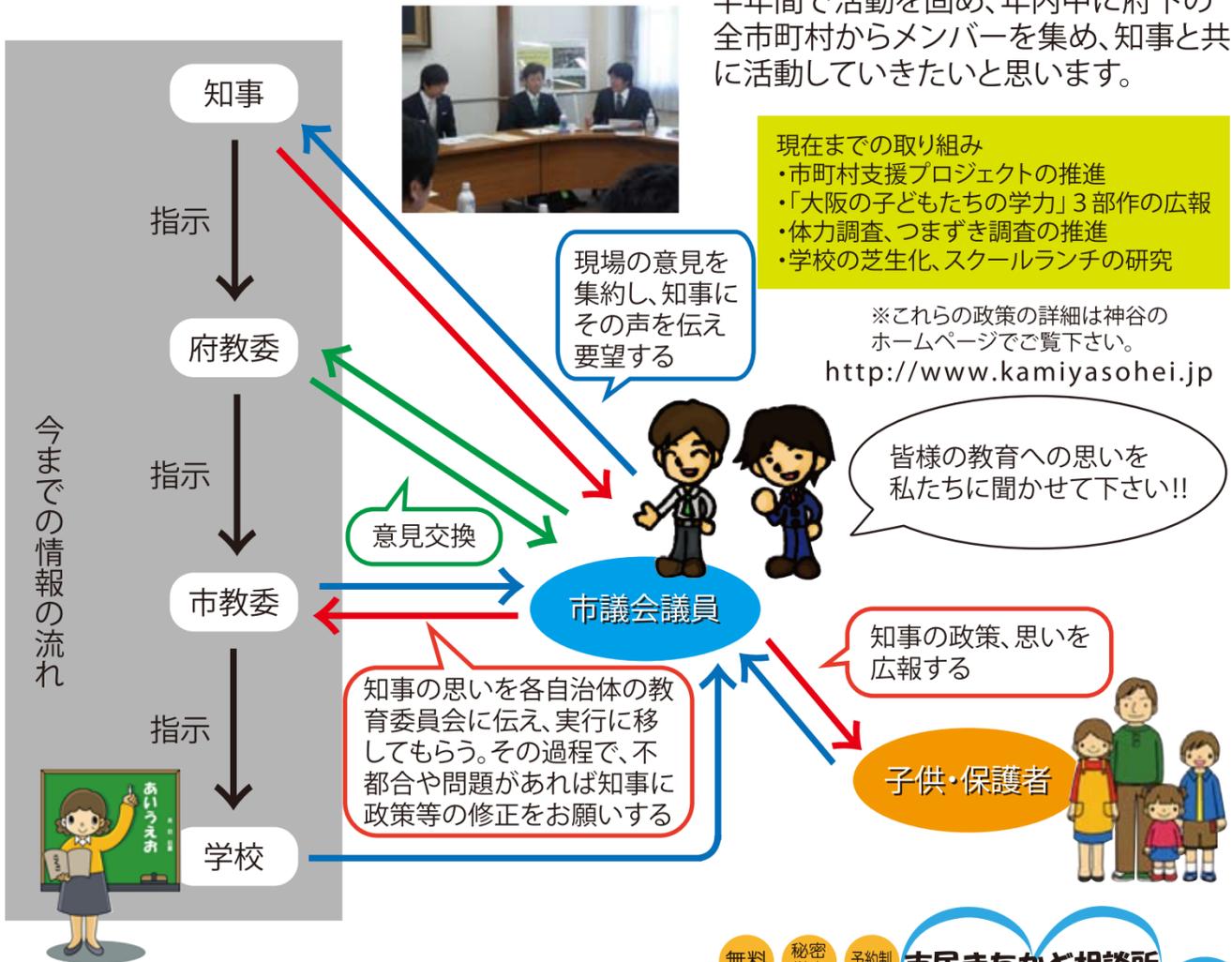


大阪教育維新を市町村からはじめる会 活動モデル



市民まちかど相談所
無料 秘密厳守 予約制

こんなお悩みございませんか？

- ・市政に関する要望、相談
- ・若者、障害者の就労支援
- ・住宅問題、住まい探し
- ・子育てや教育の悩み
- ・多重債務や金銭、法務トラブル

市民まちかど相談所では、弁護士・司法書士・行政書士など専門家と連携し、問題解決への助言をさせていただきます。

「親が変われば子供も変わる！」
※吹田新選会は地域の教育力の向上を目指し、「親学」を推奨しています。

親学とは？
「親学(おやがく)」とは、すでに親である方に限らず、これから親になる方に対しても、親とは何か、親に求められることは何かなど、親として学ぶべき大切なことを伝えるものです。子供の心や脳の発達に合わせて、親がどのように関わることが子供の心を育てることができるかを、主体変容(親自身が変わり、成長することで、子育てへの意識も変わり子供も変わる。)を軸として学びます。

親学の3つの柱

- ①教育の原点は家庭にあり、親は人生の最初の教師として、教育の第一義的責任を負うことを深く自覚する
- ②胎児期・乳児期・幼児期・児童期・思春期という子供の発達段階に応じ、家庭教育で配慮すべきポイントを学ぶ
- ③子供に対する母性的(優しさ)・父性的(厳しさ)関わりを明確にする

ご興味を持たれた方は、吹田新選会(神谷・石川)までご連絡下さい。

一般財団法人 親学推進協会 ホームページ
<http://www.oiyagaku.org/>

■ 開催日: 毎週(月)~(金)
■ お気軽にご予約ください
TEL 06-6385-1230
FAX 06-6385-1239
■ 場所: 千里山行政書士事務所
至北千里 阪急千里山
交番 千里山駅 マーケット
書店 郵便局

新選会 吹田新選会通信

vol.09 発行元 吹田新選会 〒564-0041 吹田市泉町1丁目3番40号 市役所3F

TOPICS 5月議会で会派メンバーの1年間の役職が決定しました。

- | | |
|---|---|
| <p>神谷 文教市民委員会(副委員長)
議会運営委員会
吹田操車場等跡利用対策特別委員会
住宅審議会
環境審議会</p> | <p>石川 福祉環境委員会(副委員長)
情報公開運営審議会
文化振興事業団
健康づくり推進事業団</p> |
|---|---|

政治に「誠」まちに「夢」人に大きな「志」

PROFILE
神谷 宗幣 (かみや そうへい)
昭和52年 福井県大飯郡高浜町10月12日生まれ
福井県立若狭高等学校卒業。関西大学在学中に1年間海外をまわり、自分を含めた今の日本の若者はこれでいいのか、と疑問を抱く。大学卒業後、高校教師の経験を経て関西大学法科大学院へ進学し、平成19年3月卒業後、4月の統一地方選挙で吹田市議会議員に初当選。「変えよう!若者の意識をキャッチフレーズに、吹田市の教育の充実を目指し活動中!

吹田市議会議員 かみや そうへい
神谷 宗幣

挑戦する勇気・守るやさしさ・創る情熱

PROFILE
石川 勝 (いしかわ まさる)
昭和43年 吹田市垂水町生まれ
北千里高校7期生・神戸学院大学法学部卒業。24歳の頃より「時代を創るのは青年の使命である」との思いで「まちづくり運動」に関わる。主な経歴は吹田青年会議所理事長、豊一小PTA会長、ボランティアフェスティバル実行委員長。「挑戦する勇気・守るやさしさ・創る情熱」を持って何事も「とことん、やります!」
今年の自己目標は周囲を笑顔にできるような「太陽のような存在」を目指しています。

吹田市議会議員 いしかわ まさる
石川 勝

あいさつ
我々吹田新選会は、先月4月7日、府下約20の自治体の20~30代の議員を集め、「大阪教育維新を市町村からはじめる会」を結成し、大阪府知事と教育問題に限定した意見交換を定期的に行っていくこととしました。この会の目的は、府のトップである知事が、声高に教育改革を唱えられている機会に、少しでも現場の状況や要望を伝え、大阪の教育をより良い方向に導いてもらおうということにあります。その会の意見交換の中で、他市の状況を聞いておりました、本市は学力テスト結果の非公開という点では出遅れてしまったものの、全体的に他市と比べて教育活動に熱心で、教育委員会の姿勢も前向きであることがわかりました。本市のこの傾向がより強まり、「大阪では吹田の教育が一番だ」と市民の皆様にも自負していただけるよう、我々も活動を続けていく所存です。ご意見や応援メッセージをお寄せください!

あいさつ
5月本会議では吹田新選会を代表して質問しました。今回は主として我々が普段取り組んでいる大阪全体での教育改革について、府内20市町村の議員との連携事例を示すと共に、本市行政の役割について提案しました。また、今年度の重点取り組みとしている高齢者福祉に関することや、「インフルエンザ対策」・「市内の高校と地域が連携したまちづくり、人づくり」・「吹田市のマニフェスト」・「カラス対策」・「性風俗等の規制」などについても提案を含め質問しました。又、21年度は福祉環境常任委員会(副委員長)への所属が決定しましたので、この分野の専門性を高めて参ります。今年度も神谷議員と共に新しい政治の創造!に向け、とことん、やります! 市民みなさまからのご意見・ご要望をお待ちしております。

ホームページは毎日更新しております。
<http://www.kamiyasohei.jp>

【自宅】吹田市山田東4-41 5-814号
TEL・FAX: 06-6567-8750
【事務所】吹田市泉町1-3-40 市役所3F
TEL: 06-6337-6928(直通)
E-mail: info@kamiyasohei.jp

活動内容はブログで。
http://blog.livedoor.jp/ishikawa_masaru

【連絡先】
吹田市垂水町1-31-22 石川まさる事務所
TEL:06-6337-7701 / FAX:06-6337-7702
mail: ishikawa@wish.ocn.ne.jp

5月議会報告 「新選会議会質問」と「答弁」の概要 私たちが、みなさまの【声】を代弁します。



教育

学校の先生方のバックアップを！ [神谷 個人質問]

Q. 1990年代後半から教師の体罰が過度に問題視され、現場の先生方の委縮を招いている。市民からは、学校での厳しい生活指導を求める声も多い。現場の先生方が、萎縮せずに統一した見解と態度で指導にあたるよう教育委員会がしっかりと基準を示し、現場の先生方のバックアップをして頂くように要望する。また今後、4月に出た最高裁判例を踏まえ、国から体罰に関する新基準が示された時、本市ではその基準の周知徹底をどのように行うのか。

A. 生徒指導にあたっては、全ての教職員の共通理解の下で組織的に取り組み、特にいじめや、学校の秩序を乱し、学習を妨げる行為等については、毅然とした指導に努めることが必要と考えている。今後とも文部科学省等からの通知については、その趣旨と内容を迅速に各学校現場に周知し、教職員が児童生徒の指導に際して、過度に萎縮することのないよう努めていく。

地域再生

学校を地域の拠点に！ [石川 代表質問]
～学校支援を通じた地域力再生～

Q. 今、地域社会の再構築が求められており、国や府がそれらを推進するために市町村あてに予算を確保した。本市においても地域のニーズを把握した上で、これらの予算確保に努め、学校支援を通じた地域力再生を推進すべきだ。しかし実態は出遅れている。行政の責任として取り組みを更に推進すべきだ。

A. 国や府の予算は2～3年間に限ったものとなっているが、本市では時間的な措置に止まらないよう、又学校と地域の連携体制を構築する趣旨に沿って展開できるように行政の責任を果たしていく。



教育

学力向上の取り組みを！ [石川 代表質問]
～府が提供する市町村プロジェクトの効果的利用手法～

Q. 大阪府は約5億円の予算を計上し「市町村支援プロジェクト」を立ち上げ、府内各校に対し、学力向上の取り組みを開始した。しかし府が計画している本市への割り当て案では、約6割の学校しかこの取り組みを実施できない。仮に全校で実施しようとすれば本市が独自に予算を確保する必要性が出てきた。吹田新選会から大阪府教育委員会に対し割り当て予算の柔軟な執行方法について要望しているが、その後どうなったのか？吹田市教育委員会としても早期に方針を明確にし府の関係部局と交渉すべきだ。

A. 実施校は6月の校長指導連絡会で周知し、各校の課題を把握検討した上で決定する。先日、大阪府教育委員会から「当初示されていた対象学校数を弾力的に運用できる方針」が新たに示された。今後、各校の思いを受けて府教委並びに関係部局と調整する。

教育

子供の基本的な生活習慣の啓発活動を！ [神谷 個人質問]

Q. 3月議会で市長が提案された学校での朝ごはんの提供には、「反対」との意見を述べた。しかし、子供に朝ごはんを食べさせることの重要性については、全く異論はない。青森県の鶴田町では「朝ごはん条例」を制定し、食生活の改善や地産地消、早寝早起き運動、食育推進などを進めている。本市も実際の朝食提供でなく、条例などで市の方針を示し、市民への啓発活動に努めるといふことにはどうか。

A. 基本的な市民生活ともかかわる啓発活動については、今後、様々な機会を通して行うとともに、その精神や理念について現在策定を進めている「子育て・教育の基本となる条例」にも、健康づくり都市「吹田」として、どのように反映できるか研究していく。

教育

子供たちが自信と誇りをもって歌える国歌の指導を！ [神谷 個人質問]

Q. 昨年の議会で、学校の式典での国歌斉唱時に起立しない先生方が多くいるという本市の現状を指摘したが、今年は「徹底した指導」があったと仄聞し安心している。しかし、市内には、国歌斉唱時に子供達の声が聞こえてこない学校もあるとのこと。新しい学習指導要領の内容も踏まえ、子供たちが自分たちの国の国歌を自信と誇りを持って歌えるように指導して頂きたい。教育委員会の見解は。

A. 平成23年度より本格実施される新学習指導要領では、小学校音楽科で、国歌「君が代」は、いずれの学年でも歌えるようにすることと明示されており、今後も、年間指導計画に明確に位置づけ、子どもたちが国歌の大切さを理解して、自信を持って歌えるよう各校への指導を充実していく。

まちづくり

少年補導センター。府へ提案を！ [石川 代表質問]
～【非常事態】江坂地域の刑法犯発生の実態～

Q. 大阪府は刑法犯少年の検挙・補導員が全国ワーストワンの状態。吹田市においても、江坂交番管内を中心に極めて深刻な状態にある。現在、本市では多くの団体のご協力の下、安心安全の取り組みを推進しているが、もはや本市だけの対策だけでは現状を打破できない事は数値からして明らかであり、近隣他市の青少年も含め広域的な取り組みとして注意・助言・指導を推進すべきだ。現在、大阪府が府内数カ所に少年補導センターのモデル設置を計画しているが、この際吹田市からセンターのあり方を含め、府へ要望するべきだ。

A. 吹田市では少年補導員数はゼロ、少年補導員数は34人であり、この割合は中学生1000人あたり全国平均34.7人であるのに対し、本市では3.9人(約10分の1)である。現在、吹田市では様々な機関や団体との連携のもと、青少年健全育成の取り組みを重ねているが、今後も「子育て・青少年拠点施設」の整備を進めるなど、施策を総合的に展開していく。



福祉

高齢者が、いきいきと暮らせるまちづくり！ [石川 代表質問]
～地域内を走る無料交通を実現しよう～

Q. 高齢者のみの世帯では、外出時の交通手段に困ることが多く、その結果ひきこもりがちになる場合もある。地域内を走る無料交通があれば、買い物や病院などに行くのに便利になり、結果「人の交流」が生まれる。現在、民間企業の社会貢献取り組みとして、高齢者向け無料車両を運行している例がある。本市でも公共交通の可能性と併行して、この種の施策について検討を進めるべきだ！吹田新選会としても民間力を活用した福祉施策を研究し提案していく。

A. 平成20年5月より介護サービス事業者がワンボックスカーを利用して、市民病院とJR吹田駅などを結ぶルートや、千里中央駅周辺ルートを無料で運行している。企業が実施するこのような取り組みは、高齢者がいきいきと暮らすまちづくりにつながると認識しており、本市が運行している福祉巡回バスとの連携について研究を始める必要があると考えている。



食育ワンポイント知識

日本の食糧自給率は
およそ40%。



大阪府の食糧自給率は…
なんと**2%！！**

参考

東京は1%、神奈川県は3%、
北海道は約190%です。

(カロリーベース)
(2006年農林水産省資料による)

教育

市長のリーダーシップで学区問題の早期解決を！ [神谷 個人質問]

Q. 市内の数カ所で、マンションが増え生徒数が増え、学校の収容能力を超えている学区がある。一方、その隣接学区の学校で教室が空いているという状況もある。学区変更の大変さはよく理解しているが、教育委員会だけに任せるのではなく、子供達の教育環境改善のために、選挙で選ばれた市長自らが先陣を切って、学区の弾力的運用に取り組みたい。おつもりはないのか。

A. 【市長答弁】校区の弾力的運用については、地元の思いを十分踏まえながら、検討していかなければならないと考えている。今後とも、保護者や地域の方々と手を携え、教育委員会とも十分な協議を図り、子供たちが等しく充実した学校生活を送れるよう施策を推進していく。

市政への要望・不満、行政への質問など、
なんでもお気軽にご相談ください。(連絡先は裏)